

# 雪舟 研究会



## 公開講座のご案内

### 講演会

#### 「茶の湯と雪舟作品」

講師：影山純夫（神戸大学教授）

1947年大阪府生まれ。東北大学大学院文学研究科修士課程修了。神戸大学国際文化学研究所教授。茶の湯文化学会理事。日本中近世絵画史、茶道史、芸能史など幅広い分野にわたる日本文化史研究に従事。

### シンポジウム

#### 「雪舟と茶の湯」

ゲスト：影山純夫 神戸大学教授

パネリスト：渡邊雄二 福岡市美術館学芸課長

依田徹 さいたま市大宮盆栽美術館学芸員

荏開津通彦 山口県立美術館学芸員

コーディネーター：菊屋吉生 山口大学教授

もともと日本的な美意識を生活文化として総合化した芸能であり、芸術であるとされる「茶の湯」。その形成における大きな転機は、鎌倉時代末期に中国から流入した禅宗とともに、新たな喫茶の作法が日本にもたらされたことにありました。日本の水墨画も鎌倉末期の禅宗文化を母胎としており、その意味で茶の湯と水墨画はとても近い間柄にあるものです。さらに、茶の湯の美意識の変化を辿ることは、室町時代末期から近世初期へと至る、日本美術史の大きな変革期の様相を具体的に我々に教えるものでもあります。このたびの公開講座では、雪舟と茶の湯の双方に関する最先端の研究者である影山純夫先生をお招きして、さらに現在第一線でご活躍される日本絵画史・文化史研究者の皆様にお集まりいただいて、「茶の湯」という観点から雪舟の絵画史的位置を見直したいと思います。

日時 平成23年11月5日（土） 13:30-16:00

講演会 13:30-14:30（開場 13:00）

シンポジウム 14:45-16:00

場所 山口県立美術館 講座室

【聴講無料・定員80名（先着順）】

【問い合わせ】 山口県立美術館 tel. 083-925-7788